

(様式3)

事業所名 ほっとあがのグループホーム

作成日: 平成 25年 2月 27日

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昨年、夜間想定で避難訓練ができなかった。又、地域の方々にも声を掛けずに、職員のための訓練であった。	年に必ず一回は夜間想定での避難訓練を行う。又、地域の方々にも声を掛け、地域と一体となった訓練を行う事ができ、協力体制の整備を図る。	夜間想定での訓練の計画(予定)を作成し、案内も各ご近所様にお配りしていく。	8ヶ月
2	26	介護計画において、各期間に応じた見直しが行われていないケースがあったり、“見直し・継続”において、そうなった理由が記録されていないかった。	計画作成が計画作成日・各利用者様の(短期・長期目標)期間を把握しながら、見直し期間に“ズレ”が生じないように、作成することができる。又、ケアプランとモニタリングが連動できるようになる。	“サービス担当者会議”は日々の課題に目を向けられがちだが、“ケアプラン”に沿った話し合いとなるようにする。又、見直し期間に確実に話し合いが行えるよう、更には、理由の記録も残せるよう、随時、計画作成が職員に伝達していく。	10ヶ月
3	24	センター方式において、生活歴の記録に問題があったり、追加記入を含め、新たな情報把握がしにくいケースがあった。	日々のご利用者様・ご家族様との会話も、センター方式に沿った内容も取り入れて記載に繋げる事ができる。又、担当者が一人で抱え込まずに、他職員と“チーム”で関わる事ができる。	各利用者様・各ご家族様から得た情報は忘れないよう、すぐに記載していく。(時にはご家族様にセンター方式をお渡しし、記載をお願いする。)他職員とも連携を図っていく。	10ヶ月
4	2	昨年、ご近所様とは交流が図れたが、地域の小・中学校・幼稚園といった、学校関係等とのつながりに欠けていた。	学校関係で開催される“運動会”“展覧会”や、地域で開催される“作品展”等のイベントに参加する事ができる。	地域の“回覧版”や“お便り版”にしっかりと目を通しながら、情報収集に努め、参加に繋げていく。	6ヶ月
5	45	“入浴”において、入浴を嫌がられるご利用者様への対応について、ケース記録に記録されていない事があった。	申し送りでも、入浴を嫌がられた理由を確認しながら、確実にケース記録に記録する事ができる。	普段から、入浴の事も含め、普段と変わった事があったら、“特記事項”に記録する習慣を身につけていく。	3ヶ月